

【第5回 鳥インフルエンザ対策本部会議】11月26日

農林水産部長／疑似患畜の確定が、25日朝9時。本日14時50分に殺処分が終了した。殺処分羽数は、3万8,265羽。疑似患畜確定から29時間50分。

防疫作業の動員状況は、16時までの累計で、県、鹿島市、JA、建設業協会の合計で殺処分発生農場に536名、消毒ポイントに88名、現地本部・サポートセンターに438名、計1,000名以上の動員。今後も作業は続くため、動員者数は増加する。

殺処分等防疫措置には、各方面からご支援、ご協力をいただいた。詳細を資料に掲載した。多くの方々や団体に支援をいただいた。本当にありがとうございました。まだ防疫作業は継続するため、一部の団体の方には今後ともご協力をお願いする。

今後の作業内容は、

- ・卵は密閉容器に封入する
- ・使用した防疫服、長靴等の処分
- ・農場内の大量の餌や糞は、1か所にまとめ温度をあげて処理する堆積発酵処理
- ・鶏舎内外へ消毒を徹底
- ・農場敷地内全面に消石灰を散布

ここまで終了した時点で、防疫措置が完了する。

感染拡大防止のため、養鶏農家の皆様方には、配布した消石灰で防疫体制・対策を強化してほしい。野鳥や野生動物が侵入しないよう補修等を実施していただきたい。

防災監／本日14時50分、殺処分を終了した。現在は、卵を集めミッペールに入れる作業中。卵は、ミッペール220個分に相当する量。

今後は、フレコンに仮詰めしている鶏をミッペールに詰め替える作業を行う。ミッペール1,422個分に相当する作業量。今日中に終了する予定で、作業は順調に進んでいる。今後は、タンク内の飼料やケージ下の鶏糞の処理等を行う。

松尾市長／殺処分が完了した。昨晚から今朝にかけては特に寒い中での作業だった。皆さん方、本当にご苦勞様でした。

鹿島市内での防疫服・長靴等の埋却処分に向け、場所を選定し地元と調整中。

農林水産部長／1点修正がある。資料P4関係機関、団体等からの協力で、太良町から

輸送バスの提供があったので追加したい。HPには修正をアップする。

県土整備部長／消毒ポイント7か所で、養鶏車両、一般車両の消毒作業を進めている。一般車両の消毒には、消毒液を満たしたマットを車道に敷き、それをピンで押さえ、その上を車両が通過する形の消毒になる。

交通量が多いため、直線部でスピードが出やすく、1か所ピンが外れマットがめくれる事案が発生した。消毒ポイントの手前には、徐行をお願いする旨の案内を出している。通行される際には、消毒ポイントは徐行を心がけてほしい。

県警本部／パトカーによる、消毒ポイント周辺の流動警戒を行っている。スピードが出やすい場所のため、現場の職員の方と連携を取り警戒する。

落合副知事／皆さん大変お疲れ様です。本日14時50分をもって殺処分が完了した。今回は、現場で埋却処分ができないことや養鶏場の構造上、作業効率が上がらない課題もあった。

しかし、3度の鳥インフルエンザの経験や夏の豚熱の経験を生かし、順調に進められた。今回の殺処分の完了をもって、大きな山場を1つ越えた。

防疫措置では、様々な関係機関のご協力、ご支援をいただいた。この場をお借りして、心より御礼を申し上げます。

現場で作業した県職員も1,000名近くになる。全体でも1,000名を超える人たちが、防疫作業や殺処分に関わった。朝、夕、夜は寒い中での作業でもあり、精神的、肉体的に負担の大きい作業となった。心より労いたい。

今後、防疫措置の作業がしばらく続くため、最後まで気を抜かずに取り組みたい。